

【別紙様式】

令和５年度教育指導の重点及び学校経営計画

学校番号	学 校 名
4 7	土岐紅陵高等学校

学校教育目標	1 自己の在り方や生き方を主体的に考えるとともに、思いやりのある人間を育成する。 2 社会で求められる資質や品格を身に付けた人間を育成する。 3 地域社会に貢献できる人間を育成する。		
スクール・ポリシー	『育てたい生徒像』 グラデュエーション・ポリシー（G P）	『生徒をどう育てるか』 カリキュラム・ポリシー（C P）	『どんな生徒を待っているか』 アドミッション・ポリシー（A P）
	- 基本的な生活習慣、倫理観及び社会的なマナーを身に付け、互いの多様性や人権を尊重し思いやる心と生命、自然、文化を大切にする生徒 - 自己の可能性を信じ、自己を成長させるため、生涯にわたり主体的かつ意欲的、継続的に学習する努力を惜しまない生徒 - 思考力と適切な判断力を身に付け、社会の進展に主体的に対応するとともに、他者と協働して豊かな地域・社会を創造する生徒	- 一人一人の個性、感性及び長所を伸ばすための多様な科目選択を可能にする教育課程の編成と、I C Tを有効に活用した粘り強く丁寧できめ細かな指導の実施 - 地域社会の一員としての自己有用感を持たせるとともに、主体性や協調性を育成するため、地域社会と連携・協働した体験的・実践的な活動を積極的に実施 - 思考力、判断力、表現力等を育成するための課題解決学習を中心とした探究的な学びの推進	- 互いの違いや良さを理解し、互いに認め合う努力をするとともに、自らを律しつつ、他者を思いやり、他者とともに協調する努力ができる生徒 - 自己の生き方について主体的に考えるとともに、将来の多様な進路実現に向けて学習活動、部活動、学校行事などに真面目に取り組む生徒 - 奉仕活動や体験活動等の地域活動を通して地域社会と積極的に関わり、仲間とともに人間性、社会性を高めようとする生徒
教育指導の重点 (今年度の具体的な重点目標)		重点目標の達成に必要な主な具体的取組、方策	達成度の判断、判定基準あるいは評価指標
1 生徒一人ひとりの尊厳を最大限に尊重し、一人ひとりの良さや可能性を見つけて伸ばす教育活動を推進します。		① 外部機関等と連携しながら、基本的な生活習慣や心の面に不安を抱えた生徒への支援の充実を図ります。 ② 学校行事や生徒心得の改訂など、生徒会を中心として、生徒が主体的に活動できるよう支援の充実を図ります。 ③ いじめ事案や問題行動について、組織的な対応の充実を図ります。	① 学校評価の「生徒指導」に係る項目で肯定的な結果が70%以上であるか。 ② 外部講師による講話と職員研修会を実施する。 ③ 学校評価の「特別活動」に係る項目で肯定的な結果が70%以上であるか。
2 学力とコミュニケーション能力を向上させることのできる教育活動を推進します。		① I C Tを有効に活用した個別最適な学びと協働的な学びの充実を通して、学び方や学ぶ力を育成します。 ② 授業規律の再確認をし、授業への参加意識を高めながら、学ぶ楽しさを感じられる教育活動の充実を図ります。 ③ 遠隔授業の実践を通して、小規模校の学びの充実に向けた研究を進めます。	① 学校評価の「学習指導」に係る項目で肯定的な結果が70%以上であるか。 ② 授業評価アンケートで肯定的な結果が70%以上であるか。 ③ 学習支援システム及び他校と接続した遠隔授業の実施状況。
3 キャリア意識の向上と自己肯定感の醸成を目指す教育活動を推進します。		① 地域との連携、地域の支援を受けながら、様々な人々との関わりによる探究学習の充実を図ります。 ② 外部機関の協力を得て、I C Tを効果的に活用しながら地元企業の研究に取組むことで、キャリア意識の向上を図ります。 ③ 総合学科の特色を生かし、進路希望に応じた系列や幅広い科目の選択と指導の充実により、学びの充実に努めます。	① 探究学習における学習成果の発表状況。 ② 社会人講話等の実施状況。 ③ 系列、科目の選択に関わるガイダンスや職員研修会の実施状況。